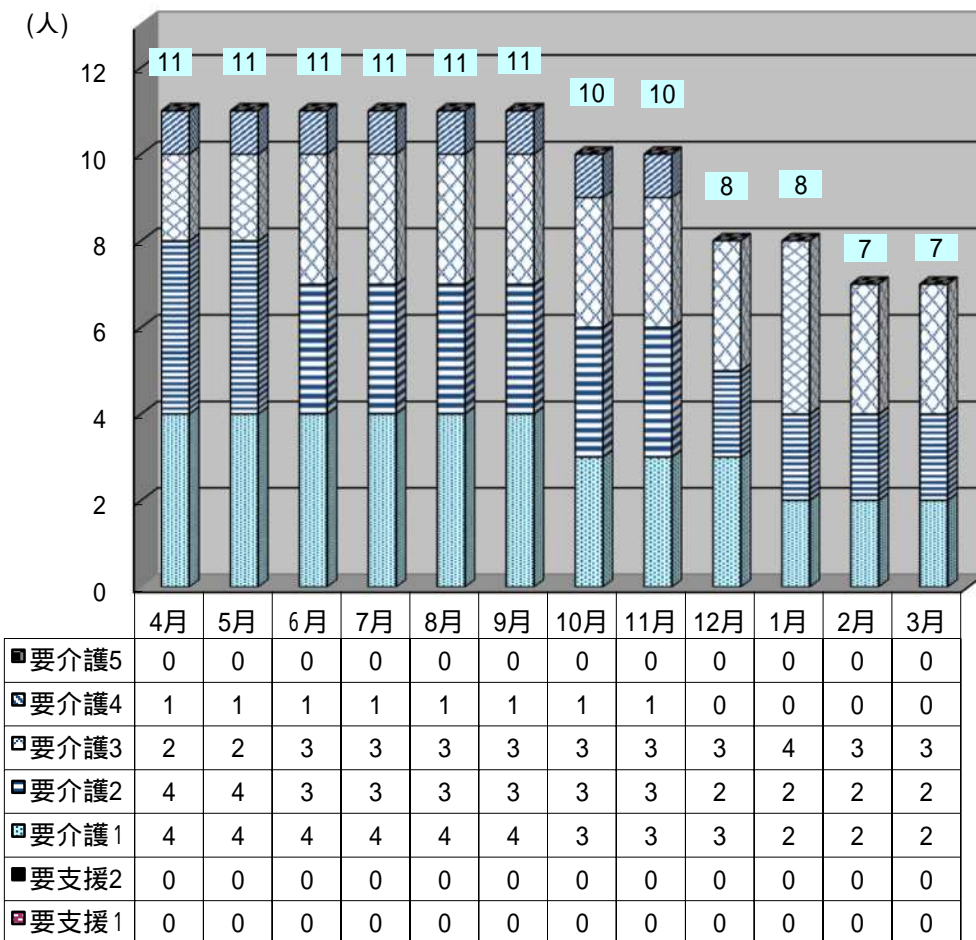


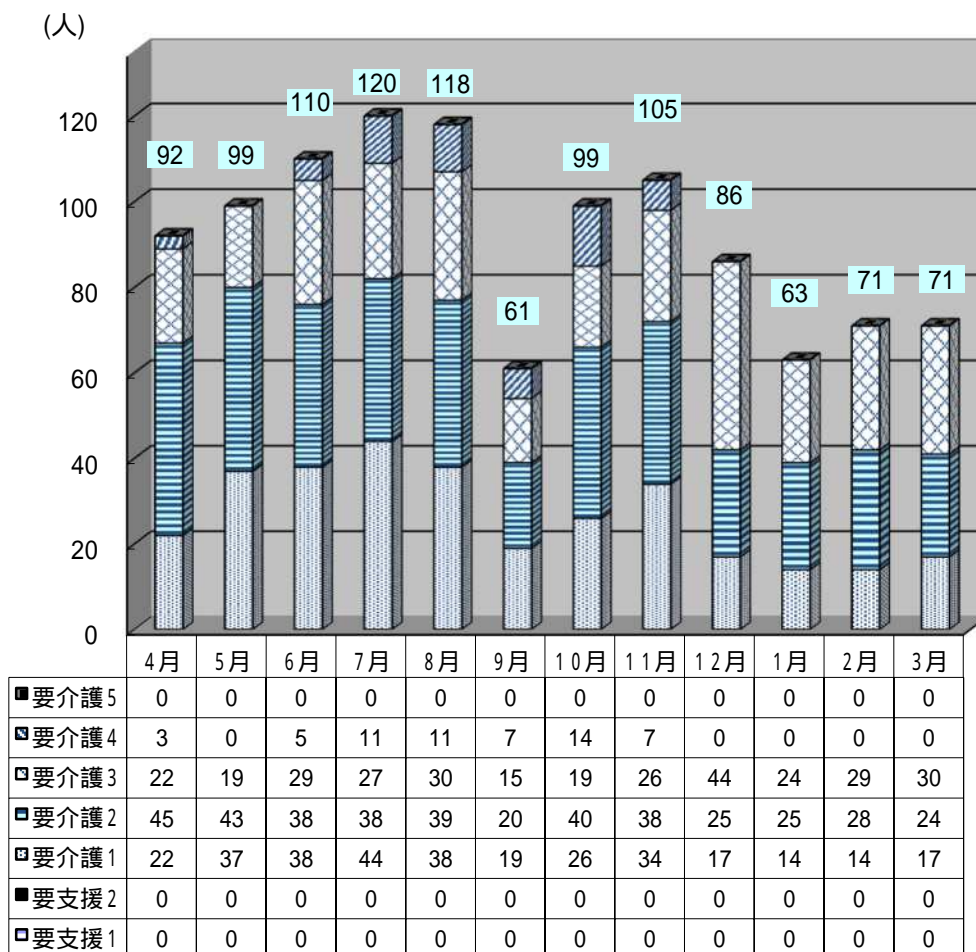
令和4年度 事業報告書

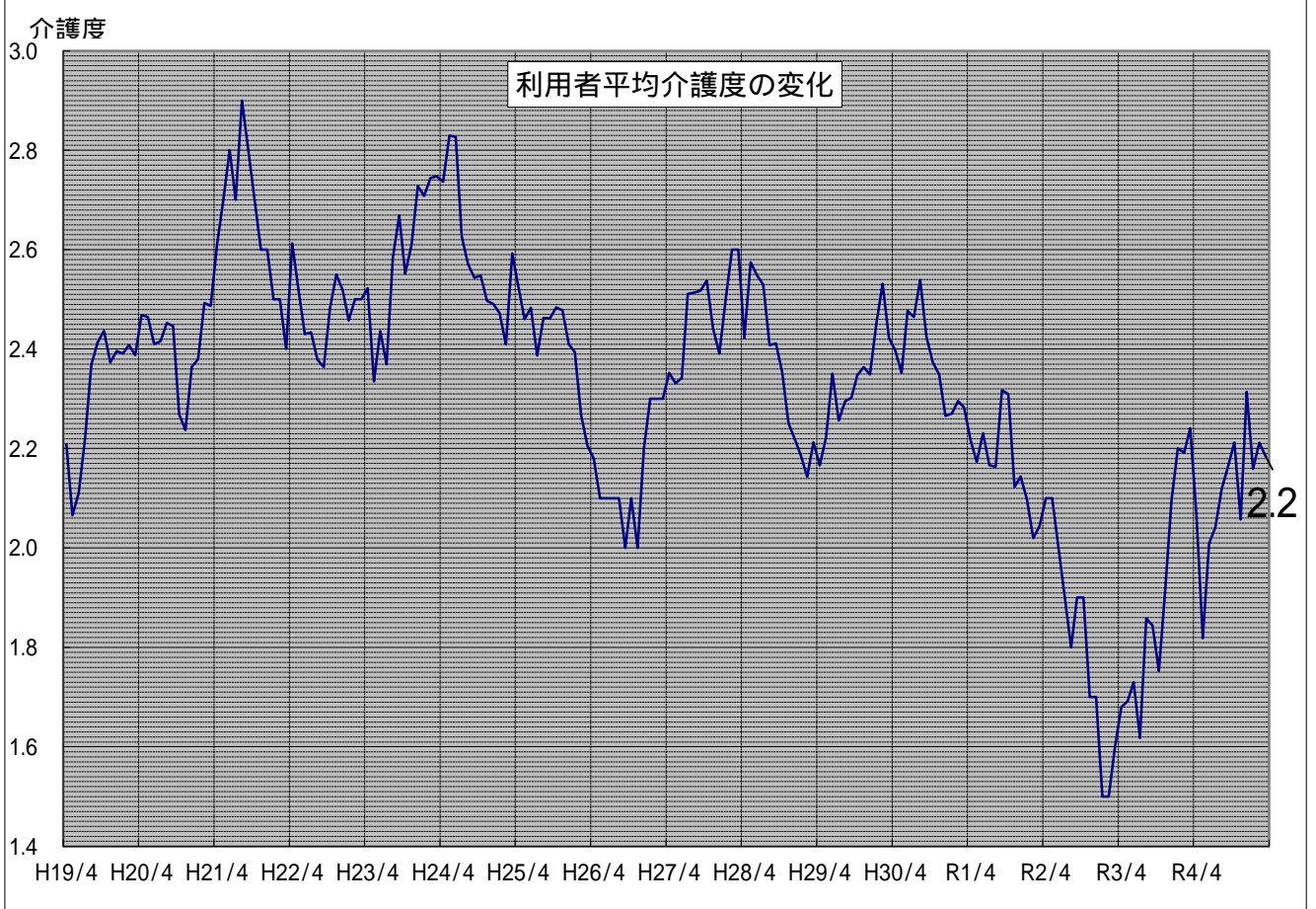
デイサービスセンターやまもも

介護度別利用者数



介護度別延利用者数





今年度重点目標の達成状況

重点目標	達成状況及び次年度へ向けて
利用者ひとりひとりの個性を生かしたコミュニケーションの取り方、健康状態に合わせた活動内容を模索し計画実行していく。	個性を生かしたコミュニケーションを取ることは難しく、職員が入って話を繋げ、話題の提供を行い、関係づくりをサポートした。利用者の相性等を考え座席を決め、状況を見ながら変更した。また、状況に合わせたレク、体操等に参加してもらった。来年度はそれぞれの利用者に耳を傾け、しっかり目を向けながら話しやすい環境づくりを行い、コミュニケーションを取っていきたい。
利用者宅の浴室の環境を踏まえた個別の入浴計画を作成し、個別での入浴を行うなどして残存機能維持の為に支援を行っていく。	自宅で入浴する方や家族が入浴介助に介入する方がおられず、やまももを利用して入浴を行っている。そのため、対象の利用者がおられない。来年度も計画実行することは難しいと思われる。
新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを継続するとともに、対策に関する最新の情報を収集し、職員間で共有し、利用者や家族に提供する。感染未然防止の為に、施設内マニュアルを充実させる。	送迎時にマスクの着用や所持、食事前、個別活動実施前等に継続して手指消毒を行っている。コロナ感染症対策マニュアルや感染症に関する情報を確認し、それに添った対応を職員全員で共有しているが、利用者や家族には提供していない。また、感染未然防止の為に新たなマニュアルはできていない。来年度は情報を共有し継続して感染防止に努めていき、誰が見ても分かりやすい様な目標に取り組む。

通所介護サービス評価基準 サービス評価一覧表

令和 4年 12月 2日 職員会議にて作成

● サービス評価項目(一覧表)【凡例】

評価結果	:実施できている :実施できているが不十分 ×:実施できていない				
改善の必要性	a:既に着手している	b:早急(本年度中)	c:来年度以降に改善に着手	d:改善の必要性と実現可能性の検討に着手	e:当面、改善に着手しない

● 又は×の評価項目

NO が太字下線付きの項目は基本項目

NO	評価基準の具体的内容	評価結果	改善の必要性
17	日曜日、その他の休日に対応できる体制ですか。	×	e
20	生きがい対応型デイサービス事業に取り組んでいますか。	×	e
21	身体障害者も対象に含めた相互利用事業に取り組んでいますか。	×	e
<u>56</u>	事業所内あるいは外部の専門職の参加を得て、定期的又は必要に応じて、ケアカンファレンスの際に、スーパービジョン(助言指導)を実施していますか。		d
59	第三者評価を積極的に受け入れて、必要な業務改善を行っていますか。	×	e
60	職員、利用者、家族からの業務改善に関する提案を活用する体制がとられていますか。	×	c
83	職員研修について、研修体系を整備し、研修を計画的かつ定期的に行っていますか。		c
84	職員の調査研究の指導や研究発表を推進していますか。	×	e
89	職場体験やボランティア活動体験を行うなど、ボランティアや地域住民を受け入れる機会をつくっていますか。	×	c
90	実習性の受け入れが適切に行われ、福祉人材の養成を行っていますか。	×	c
91	地域での介護教室の開催や、介護者会の参加等、地域等の交流に努めていますか。	×	d

法人・事業所として実施の考えのない項目の評価結果については(×)ではなく、(-)で記載

	評価結果			改善の必要性				
			× 又は -	a	b	c	d	e
令和 2年度	82	2	7	0	1	3	2	3
令和 3年度	81	2	8	0	1	4	1	4
令和 4年度	80	3	8	0	0	5	1	5

評価結果 “ ”+ “× 又は - ”=改善の必要性項目の総数

令和4年度 事業報告(行事活動状況、ボランティア、研修等)

行事活動状況

行事・活動名	実施日	実施場所	参加利用者	家族・ボランティア等
花見ドライブ	1日(金)	出雲方面	1名	
	4月 2日(土)	大田方面	5名	
	7日(木)	佐田方面	5名	
遠足	5月 26日(木)	花の郷	4名	
植物画展鑑賞	6月 18日(土)	多伎文化伝習館	6名	
	20日(月)		2名	
七夕会	7月 7日(木)	やまもも	8名	
山野草 盆栽展見学	10月 8日(土)	多伎文化伝習館	6名	
久村祭見学	10月 20日(木)	町内	5名	
紅葉見学ドライブ	11月 12日(土)	大田方面 浄善寺	6名	
	21日(月)		5名	
クリスマス会	12月 19日(月)	やまもも	5名	
	20日(火)		3名	
初詣	1月 10日(土)	多岐神社	1名	
節分会	2月 4日(木)	やまもも	5名	
多伎こども園作品展	2月 11日(土)	多伎文化伝習館	5名	
竹細工、わら工房見学	2月 23日(木)	多伎文化伝習館	5名	
	25日(土)		5名	
ひな祭り	3月 4日(土)	やまもも	5名	
いきいき作品展	3月 18日(土)	多伎文化伝習館	4名	
	20日(月)		2名	
ぼた餅作り	3月 20日(月)	やまもも	5名	
消防避難訓練	3月 23日(木)	参加者:利用者4名、職員4名、山陰防災電機2名		
花見ドライブ	3月 27日(月)	木次方面	6名	
	28日(火)	大田方面	2名	

演芸グループの訪問依頼や、こども園との交流などは実施しなかった。

ボランティア等

『社会福祉法人多伎の郷 新型コロナウイルス感染症の基本対応』に沿って、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度はすべてのボランティアの受け入れを中止した。

苦情対応

苦情件数	なし
------	----

その他

広報活動	機関紙の発行2回
------	----------

研修実施状況

1. 法人・事業所内研修

実施月	研修会名	講師	参加職種	参加人数	日数
7月	食中毒予防の原則について(事業所内研修)	看護職員	全職種	3名	1日
10月	感染症に関する研修(事業所内研修)	看護職員	全職種	3名	1日
11月	冬の感染症・ヒートショックについて(事業所内研修)	看護職員	全職種	3名	1日
1月	デイサービスの体操についての研修(事業所内研修)	介護職員	全職種	3名	1日
2月	防災に関する研修(事業所内研修)	所長	全職種	4名	1日

2. 外部研修、集団指導

実施月	研修会名	講師	参加職種	参加人数	日数
3月	出雲市介護保険サービス事業者集団指導	出雲市(WEB開催)	介護職	1名	1日

デイサービスセンターやまもも 運営推進会議・感染症発生時対応

開催回数	開催場所	出席者	会議の内容	
2回	グループホーム はなんばの里	運営推進会議委員 ・家族代表2名 ・地域住民の代表2名 ・出雲市高齢者福祉課職員 ・はなんばの里施設長(やまもも所長) ・潮風苑施設長 〓 やまもも生活相談員1名(5月) 機能訓練指導員1名(1月)	毎回	・利用者状況報告 ・活動状況報告 ・行事予定について ・意見交換
			随時	5月 ・令和3年度事業報告について 1月 ・令和4年度事業報告について

報告書概要（会議の内容）

（令和4年度）

会議の内容...評価、要望、意見、助言等	
5月24日	<p>○ 家族の代表より</p> <p>利用者が少なくなると経営的にも大変ではないですか。</p> <p>施設より</p> <p>たとえ利用者が一人しかおられなくても、生活相談員は常勤換算で1名、介護職員は2名必要で、3名の職員を配置しないといけません。機能訓練指導員は常勤換算ではないですが1名必要です。よって機能訓練指導員が介護職員を兼務し、介護職員が不足する時は介護職員として勤務するなど調整が大変です。出雲市内近隣の居宅介護支援事業所に対して、毎月空き状況をファックスしたり、多伎の郷のホームページに掲載したりしていますが、今のところ目立った反応はありません。潮風苑のショートステイは大田方面の居宅介護支援事業所にも情報提供した結果、減っていた利用者数が回復してきています。しかし、やまももの場合は地域密着型サービスであるため、数百メートルしか離れていない仙山や波根などの利用者を受け入れることができません。多伎に限らず平田のように他市に隣接している地域の事業所は地域特例のようなことはできないもののでしょうか。やまももの場合、出雲市といっても神西から向こうくらいになると送迎も難しいです。大田の仙山の方がはるかになじみの地域であり、送迎も可能です。</p> <p>出雲市より</p> <p>平田など他市に隣接しているグループホームは待機者数が少ないと聞いていますが、他市に隣接しているデイが利用者の確保がどうなのか他事業所のことは把握していません。しかし、なじみの関係ということであれば、確かに市内の遠く離れた地域より、他市の隣接地域の利用者の方がなじみはあると思います。持ち帰って確認してみます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>後日、地域密着型サービスの利用基準について電話にて回答していただきました。</p> <p>認知症対応型通所介護についても市域を越えての利用が可能です。但し、利用基準があります。他市町村の被保険者が出雲市の地域密着型サービスを利用する場合、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当該事業所に空きがあり、受入れが可能であること。 2. 指定を受けようとする被保険者の市町村が同意を求めていること。 3. 他市町村の上限は、当該事業所の登録者または1ユニットに1名であること（通所介護は人数制限なし） 4. 次のいずれかを満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村利用者の住所が、隣接市町であること ・市内にその者を介護する家族、親族がいること ・その他、出雲市長がやむを得ない状況であると判断した場合 <p>となります。出雲市に住所を有している者については、手続きは容易ですが、市外から通う場合は手続きが複雑になります。いずれにせよ、事前協議が必要となるため、事業所間で連絡を取り、利用を検討した段階で、必ず事業所所在市町村と保険者に連絡をして下さい。</p> </div>

1 月 26 日	<p>○ 家族代表より 金曜は利用される方が1名ですね。職員の方が多いのではないですか。また、週2回の利用の方が多いですが、それ以上に利用は難しいのですか。ご家族のニーズがないのですか。</p> <p>施設より 一時的に2名や3名の時もありましたが、現在は1名になりました。利用者の方が1名であっても生活相談員は常勤換算で1名、介護職員は2名必要と示されています。引き続き、近隣の居宅介護事業所に空き状況をファックスで1月に1回知らせています。手ごたえがない状況が続いています。</p> <p>他のサービスを使っておられる方は殆どおられず、現実的にはもう何回かは利用できる状況です。ご家族のニーズがあるかどうかは把握していませんが、1回でも2回でも利用される回数が増えることに期待しています。</p> <p>出雲市より 市としてもコロナで利用者が減ったということも聞いています。また、職員不足で人員確保が出来ず、利用定員に満たなかったり空床があったりということもあります。介護職員の定着のために、ホームページで介護の魅力を発信したり、身体的な負担が軽減するように、ロボットや機械を導入して重いものを持たないようにしたり、業務を削減したりできますという働きかけはしています。</p> <p>○ 家族の代表より 以前、やまももを利用していました。ゆったりとしていて型にはまらないケアをしておられると思いましたが、それでも利用される方は少ないですね。</p> <p>施設より 日々、1対1に近いケアが行えています。ゆったりとした時間を過ごしたいと希望されるご利用者の方には合っていると思いますが、なかなかそういった希望ないように感じます。小田のデイサービスでも言える事だと思いますが、ご家族の希望としては家庭で行いづらくなった入浴を施設で済ませてもらいたいと希望される方が多く、実際のケアについては多くを求めておられないのではないかと思います。入浴だけについて言えば、利用料の低い小田のデイサービスを希望される方が多いのですが、そちらの方も利用される方が少なくなっています。入浴の問題だけでなく、多伎町や近隣の町についても利用される高齢者は少なくなっているようです。今年度、通所系のサービス事業所の倒産が一番多かったという話も聞いています。</p> <p>○ 地域住民の代表より 利用者のニーズ、例えばリハビリしたいという方がおられたら、そのニーズに合わせてサービスを位置づけることは可能ですか。</p> <p>施設より やまももやデイサービスセンターたきでも毎日プログラムに沿った運動はしていますが、リハビリをしたいというニーズがあれば、小田にあるデイケアを位置づけることが出来ます。担当の介護支援専門員に相談し、希望されるサービスを利用することが出来ます。色々なサービスを試して頂いて、本人4さんに在ったサービスを選んで頂くのも一つの手ではないでしょうか。</p> <p>○ 家族の代表より やまももを週4回利用しています。自宅では室温の調整が難しく、通うことで体調良く過ごせています。また、あまり行わなくなった行事等も季節に合ったものを準備していただいで喜んでおり助かっています。</p> <p>施設より より安心出来たり、ご本人が持っている力を発揮できるようなプログラムを用意したりして関わっていただけるとと思います。</p>
-------------------	--

グループホームはなんばの里における新型コロナウイルス感染症クラスター発生時の対応について

新型コロナウイルス感染症のBCP計画に基づき、隣接するはなんばの里の業務を行った。9月10日～20日までの間(8営業日)を臨時休業し、やまももで昼食と夕食を作り、食事開始時間に合わせはなんばの里まで配食した。また、必要物品の買い出しも行った。

臨時休業期間中、代替サービスを希望された利用者は3名。担当介護支援専門員に調整依頼し、希望されるサービスを利用していただいた。